

## 7.参考になった内容、感想(自由記載から一部抜粋)

- ・資料がわかりやすく、実際の看取りの様子が疑似体験できました。
- ・看取り介護における丁寧なプロセス、利用者・家族に寄り添った対応をされている事が良く分かりました。亡くなった後の情報分析にて今後の看取り介護より良いものになっていくことを感じました。今後の参考にさせて頂こうと思います。
- ・看取りケアを特別に考えることなく、日頃の生活の延長であることと看取り後の振り返りをする事が大切だと改めて感じました。
- ・看取り介護という言葉は初めて聞きました。容体急変時に慌てずACPIに乗っ取って対応できるので、多くの施設で広がれば救急医療の負担軽減にもつながると思います。
- ・ご家族に向けての安らかな最期を迎えるための書面は、誰が見ても分かりやすく具体的で、施設の目指す方向がよく理解できました。グラフもお話も、とても学びになる内容でした。
- ・看取りケアについての同意書の安らかで尊厳ある最期を迎えるためにという内容が家族に説明する際にわかりやすくてよいと思った。
- ・施設独自の意向確認書、意思確認書はとても良いと思いました。半年ごとに見直しをかけていらっしゃるという点もすばらしいと思いました。
- ・入居時に入居者や家族に意向確認し、状態の変化を家族に伝えることが重要だと思った。
- ・利用者にあわせて、職員の方が最後まで見届けてくれると言う事が、施設にお願いする上で利用者の家族に安心感を与えるのかもしれないと感じた。
- ・看取りについての流れについて確認ができた。自分の施設でも周知しながら、看取りの対応をしていかななくてはと思う。
- ・看取りをするにあたって入居者本人やご家族の意向を確認、汲み取り、できる限り希望に沿ったケアをすることの大切さを改めて学んだ。
- ・介護士が看取りについてここまで積極的に関わり、教育を受けているとは思わなかった。とても、頼もしいと感じた。
- ・看取りについて、入居者本人がどのような死に方を望んでいるのか考えなくてはいけないと改めて感じました
- ・私の立場では看取りとどう向き合うかを考えさせられる凄く良い研修でした。
- ・死ぬ事を自分で考えられる取り組みが細かくされていた。
- ・看取りについての理解が進まない現状があります。「なんで病院に入院しないの」と職員から不満が聞かれることも多くあります。自分自身も「平穏死のすすめ」を読んで、施設職員への恵活活動につなげていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・看取りを終えた後の振り返りの大切さ、そこで何を学び、課題が何かを考えていく事で自分や関わった職員の成長につながっていくと強く感じました。
- ・食べないから死ぬのではない、死ぬのだからもう食べない をどう職員に伝えていったらよいか迷っていたので、とても分かりやすい講義で参考になりました。
- ・看取りの様子が詳しくわかってよかったです。施設選定の参考にもなりました。あと、若い方でも自分の最期は、きちんと自分で決めるような教育がなされてもいいのかなと思いました。
- ・「平穏死のすすめ」をぜひ読んでみたいと思います。
- ・施設での看取りに対する意識や対応が分かり参考になりました。感染状況の事もありながら工夫しながら対応していることがわかりました。医療行為の問題はありますが、長く生活してきた施設に戻れることが、全ての施設に戻れることが出来るようになれば良いと思いました。とても参考になりました。ありがとうございました。